

令和6年度第3回協和地域協議会会議録

令和6年12月18日

協和地域協議会

令和6年度第3回協和地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■次第	1
■開会	2
■会長挨拶	2
■会議録署名委員の指名	2
■報告	
(1) 地域枠予算の申請状況について	2
(2) 彩色千輪プロジェクト事業について	3
(3) 協和地域の行事予定等について	3
■その他	5
■閉会	10

令和6年度 第3回協和地域協議会 会議録

■日 時：令和6年12月18日（水） 午後1時

■会 場：協和支所4階 大会議室

■出席委員：11名

伊 藤 慎 一、後 藤 隆 繁、安 田 正 一、佐 川 亜 希 子、
滝 沢 洋 子、新 山 千 加 子、茂 木 靖 雄、藤 原 保 子、
加 藤 弘 栄、豊 嶋 一 郎、今 野 幹 雄

■欠席委員：3名

武 田 春 樹、茂 木 美 竹、今 野 珠 希

■出席職員：8名

俵谷 憲朗（協和支所長）、佐川 亜希子（市民サービス課長）、佐川 悦章（農
林建設課長）、阿部 成吾（協和公民館長）、高橋 完（西仙北・協和建設水道事
務所長）、小林 正（生涯学習課協和公民館主幹）、進藤 加奈恵（地域活性化推
進室主査）、千葉 桜子（地域活性化推進室主事）

■次 第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 報告
 - （1）地域枠予算の申請状況について
 - （2）彩色千輪プロジェクト事業について
 - （3）協和地域の行事等について
- 4 その他
- 5 閉会

(午後 1 時 1 分 開会)

○事務局（地域活性化推進室）（以下「事務局」と表記）

本日は、大変お忙しいところ、ご出席くださいまして、誠にありがとうございます。
ただいまから令和 6 年度第 3 回協和地域協議会を開会いたします。

はじめに、主催者を代表しまして、伊藤会長が皆様にごあいさつを申し上げます。

○伊藤 慎一 会長（以下「会長」と表記）

毎年この時期に、今年の雪の量はということで予想しておりますけれども、
今年は既になかなかいい塩梅で積もってしまいました。これからもう 2、3 ヶ月も
このような状態になるかと思うとちょっと憂鬱ですけれども、皆様方、体力に
気を付けながらこの冬を乗り切っていただきたいと思っております。以上で
す。

○事務局

本日は、委員定数 14 人中 11 人と、2 分の 1 以上の方が出席されております
ので、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第 8 条第 3 項の規定により、会
議は成立していることをご報告いたします。

このあとは、次第に則りまして、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第
8 条第 4 項の規定により、伊藤会長が議事進行を務めます。

○会長

それでは、会議の前に今日の会議録署名委員の指名を行いたいと思います。

後藤 隆繁 委員、滝沢 洋子 委員 をお願いしたいと思いますので、よ
ろしくお願いします。

それでは、次第に従い進めて参りますけれども、報告事項の（1）、地域枠予
算の申請状況について、担当よりよろしくお願いします。

○地域活性化推進室 千葉主事

【説明】（1）地域枠予算の申請状況について（資料 1）

○会長

ただいまの地域枠予算の申請状況について、何かご意見・ご質問はございま
せんでしょうか。

（質問・意見なし）

なければ(2)の彩色千輪プロジェクト事業について、担当から説明をお願いします。

○地域活性化推進室 進藤主査

【説明】(2) 彩色千輪プロジェクトについて(資料2)

○会長

ただいまの報告に関して、何かご意見・ご質問はありませんでしょうか。

○加藤 弘栄 委員(以下「加藤委員」と表記)

私も彩色千輪の方に参加していますが、防災関係のイベントを考えているのですが、私の地域の自主防災組織で先日炊き出し訓練を行った際に、ジップロックでご飯を炊いてみようという企画を行いました。袋の中に水と研いだ米を入れて、湯せんでご飯を炊くということをやってみて、どれくらいの水加減がいかなど、皆で調査しながらやりました。防災関連のイベントをやるのであれば、自主防災組織は各地域にあるはずなので、そこに声をかけて、例えば訓練のときにどういったことをやったらいいかなど、自主防災組織が持ち帰って実践できるネタをいろいろ出してもらえればなど。我々も毎年防災訓練をしているとカレーを作ったり豚汁を作ったりで終わってしまうので、何か新しい発想でやれるものがあればいいかなと思うので、そういうものを企画していただければと思います。

○会長

各町内会や集落会でいろいろやっていると思うのですが、なかなか意識が伴わないと言いますか、やっぱり参加する人たちの意識が低いというところがありまして、実は上淀川なんかは特に高齢の方は「ここには絶対水がつかない」「ここは地盤が固いから地震も大したことはない」というようなことを言います。だからこれまでも何回か防災訓練をしましたが、参加者は10人足らずというような状況なので、人を多く集めるためにはもっと誰かが中心的な役割を担って新しい企画を立ててやっていくのが手本になるのかなと思います。

他に何かございませんでしょうか。

(質問・意見なし)

なければ(3)の協和地域の行事等について、支所長からお願いします。

○支所長

【説明】 (3) 協和地域の行事等について (資料 3)

○会長

行事について、何かご質問ございませんでしょうか。

○加藤委員

先般、学校運営協議会がありまして、その中で今年のきょうわ祭は小学校の学芸発表会、中学校の学校祭と同時開催したのですが、日程的に 10 月の 12 日・13 日というのはちょうど前期の終わりのタイミングで、学校ではテストの後、先生たちが評定をつけたりなど様々な作業がある中で、学校祭の準備が入って、ものすごく大変らしいのです。学校運営協議会の中でいろいろ話をし、て、日程をもう少し調整できないものかと。子どもたちもきょうわ祭までの間に行事がいろいろとあると疲れてくるらしくて、きょうわ祭の日程をもう少し変更できないものかという話をしていました。地域の人たちも見に来てくれて盛大にできたので、やること自体はいいのですが、学校の先生や子どもたちの内情はハードだそうです。

○藤原 保子 委員 (以下「藤原委員」と表記)

今のお話については、各学校の校長とお話をさせていただいたときに、私は学校運営協議会の会長をやっておりますので、私のほうからお願いしなければいけないなと思ひまして、この席に話題を持ってくる予定でした。

学校ではきょうわ祭と学芸会・学校祭を同時にやることを、どちらも非常にありがたかったと。その意義を十分認めておられるんですけども、残念ながら問題がひとつありまして、やはり小・中学校の活動にはそれぞれの季節の行事があつて、例えば中学校だったら高校入試などが控えています。小学校は学習発表会など、一番大事にしている行事を最優先して考えなければいけないので、もしできればと遠慮しがちにお話しになっていましたが、地域でやることは何ら問題ない、ただ、できれば小・中学校の都合のいい日に合わせてやっていただけないかということで、そこは私の方からもお願いしたくて、お話しさせていただきました。

○協和公民館 阿部館長 (以下「公民館長」と表記)

前回は私、学校運営協議会に参加できなくて大変残念だったと思っています。今年度のきょうわ祭の日程に関しましては、小学校の希望で 12 日・13 日に決めました。中学校はどちらでもいいという形でした。昨年の校長先生と教頭先生はその日で実施したいというお話で、今回この日程で実施したわけですが、今年度校長先生も教頭先生も変わってしまい、今年の先生方の意向に合わなかった、という形になっています。実際、小学校の希望の日で実施し

ております。後ほど報告ということでお話しさせていただこうと思っていましたが、いろいろな意見を伺いまして、中学校では来年度は10月の初めであればいつでもいいということでした。小学校の校長先生とも三者でお話ししましたところ、小学校も10月4日・5日であれば可能という話を伺っておりますので、この場を借りて地域協議会にご報告させていただければと思います。来年度の予定としては10月4日・5日となります。今後、学校運営協議会にもお諮りできればと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○藤原委員

ご配慮ありがとうございます。皆様からどうかよろしくお願いいたします。

○会長

たしかに今年のきょうわ祭は賑やかでした。近年ないくらい人出がありました。子どもさんが来ると両親が来る、祖父母が来る、そういう形で本当に人出が多くてよかったと思っております。今後もうまく調整してやっていけたらと思います。

他に行事について、ご質問はございませんでしょうか。

(質問・意見なし)

なければ、4のその他に入りますけれども、委員の皆様で地域のことで気になっていること、提案したいこと、そのようなことがありましたらご報告願えませんでしょうか。

豊嶋委員、何かありませんか。

○豊嶋 一郎 委員 (以下「豊嶋委員」と表記)

地域枠予算のことで、消防関係のほうでサイレンが壊れているので何とかならないかという意見がたくさんあるのですが、市では予算がないという話です。ほしい自治会には地域枠予算を活用してはどうかという話はしているのですが。

○会長

このサイレンの話は以前からありまして、うちの地域でも取り外されて、行事があっても何もわからなくなってしまいました。サイレンが鳴らなくなると、サイレンが鳴らなくなったな、という人もいなくなり、不思議と慣れてく

るというか。しかし、実際の災害時には非常に混乱すると思います。これはやはり適正に考えて、頑張ってもらうのがいいのではないかと考えています。

後藤委員、何かありませんか。

○後藤 隆繁 委員（以下「後藤委員」と表記）

先ほど出てきた自主防災組織ですが、峰吉川はよく水がつきます。前回の大雨の際、全部水ついて、ある人を担架で運ばなければならなくなり、担架どこにあるのとなったときに会長の家だと。そこで会長の家に行ったら、会長の家の小屋に水が溜まってしまい入れない状態でした。その時は消防団に要請があったので、消防団が活躍したのですが、自治会によって防災組織の会長が自治会の会長とセットになっているところがあり、1年で会長が交代したりしてちぐはぐになってしまっているということで、峰吉川では何とか今年、振興協議会を頭に自主防災を1つにして、それに各自治会をつけて、被災しているところに他から応援に行くということをやっているように思いましたが、ちょっと時間がなかったので来年頑張っているように思います。自主防災組織と消防団、それから協和支所との連携が、自主防災組織の立ち上げのときからかけ離れていってしまっています。正直に言うと、大仙市としては何としても自主防災組織を作れと上から言われて、それで各自治会に自主防災組織を作ってくれと、そういうかんじですよ。ある自治会に行くと、ヘルメットなどいろいろな道具が各家に配られたけれど、置くところがなくて玄関に飾ってあると。そういう人も出てきている。自主防災組織は一生懸命やっているところもあれば、全く活動していないところもあるので、そこを皆で考え直したほうがいいのではないかと思います。

峰吉川は土砂崩れの恐れがあるために、大仙市で最初に避難勧告が出る場所なんですね。そこで避難所は和ピアということで、広報車が廻ってくるが、よく考えれば年寄りはどうやって和ピアまで行くのか、そういう話になる。そうすると皆あてにするのは、基幹センターになる。基幹センターは浸水のレッドゾーンに入っているが、そこが主になってしまう。基幹センターでは2年前からトイレが壊れていて、何ともならない。トイレを利用したらペットボトルの水を使って流すということを2年間やっているんですよ。行政に頼んで見に来てもらってもそれから進まない。建物が古くて直せないのであれば、玄関側に簡易式のトイレを作ってくれと何とかないのでないか、ということを訴えています。よろしくお願いします。

○支所長

後藤委員から、自主防災組織について発言がありましたけれども、この自主防災組織については先ほど会長が言われたように地域によってその活動の実状

はまちまちですけれども、実際に水害等があった場合に初動で活動するのは自主防災組織です。

先ほどの避難所が和ピアになるという話ですが、峰吉川地区は土砂災害区域に指定されており、土砂災害の際の避難所は和ピアということになっていますので、広報車でのアナウンスも和ピアということになります。水害等の被害があった場合、実際和ピアまで避難する方は少なく、それぞれの地域の自主避難所に避難していただいているというのが実状です。水害の程度によりますが、どこを避難所にして避難するのが適当か、その都度支所のほうでどこが適切かを全て把握することは困難なことです。自主防災組織で自主的に避難していただくということになります。自主防災組織の活動については、市の補助金がありますので、ぜひ備品や訓練の経費等に活用していただきたいというPRをしております。この地域協議会の中には各振興協議会の会長さんがいらっしゃいますので、各地域の自主防災組織に、補助金を活用して必要なものを揃えて災害に備えてほしいということを経理さんからPRしていただけるとありがたいと思います。

○会長

それではこの他に、支所長、もしくは各課長から報告がありましたら、順次お願いします。

○支所長

【説明】・「ぐるっと道の駅周遊キャンペーン」について

○佐川（亜）市民サービス課長

【説明】・年末の交通安全運動について
・協和温泉「四季の湯」からのお知らせ

○佐川（悦）農林建設課長

【説明】・熊の出没警報について
・畜養殖施設「びんだれ園」のPR

○公民館長

【説明】・峰吉川分館の修繕について
・自衛隊コンサートについて
・きょうわ祭について
・分館行事について
・唐松神社の防火訓練について
・きょうわミニコンサートについて

- ・スポーツ関連施設の修繕・改修について
- ・スポーツ合宿について
- ・スキー場開きについて
- ・荒川鉾山関係について

○高橋西仙北・協和建設水道事務所長（以下「建設水道事務所長」と表記）

- 【説明】
- ・水道管の凍結防止について
 - ・除雪時の事故防止について
 - ・地域の降雪状況と除雪車の出動状況について
 - ・道路の穴について

○会長

私のほうからひとつ、和ピアの駐車場に電気自動車の充電スポットがありますが、あれはどうやって使うのですか。

○公民館長

ディーラーさんが発行するカードや、ビジターであればその場でアプリをダウンロードすればすぐに使えるという形になっています。和ピアに関しても同じような形式です。また、サブスクの利用もできるので、ある程度の利用は可能かと思います。

○会長

他に何か、委員の皆さんからありませんか。

○後藤委員

11月に私の自治会で四季の湯を使いました。そのときに何もないのも、ということで唐松神社を見て、協和ダムも見ました。紅葉はまだ終わっていませんでした。ところが協和ダムに行ったら、トイレが冬期間で閉まっていました。あれはもう少し延長できないものでしょうか。我々の他にもお客さんがいました。トイレ使えないの、どこまで行けばトイレ使えるの、と。一応観光地として謳っているのであれば、もう少しトイレの使用期間長くしてもいいのではと思いました。行ってすぐ右側のところです。トイレが封鎖されて一切使えない状態でした。

○建設水道事務所長

予算の関係もありますけれども、冬期間になると早めにクローズしている状態です。というのも公園利用者が冬にはなかなか足を運んでいただけないため、11月の中頃にクローズということでやっているところです。

○後藤委員

トイレより手前の場所に、「トイレは封鎖しています」などの案内があればいいのでは。せっかく見に来る人がいても、次から来なくなってしまうのではと思います。

○会長

対処してください。

他に何かありませんか。

○加藤委員

除雪に関して、基本出動というのは10 cmで出るのですよね。1日1回出動ということなのでしょう。それとも10 cm降る度に出動するのですか。今年の場合、日中あまりにも降りすぎて夕方になると道路がザフザフで走れなくて、道路脇に刺さっている車があったりします。日中に動くと危険なのかもしれませんけれども、あまりにも降雪量が多くてひどい場合は出ていただきたいなと思いますので、よろしくお願いします。

○建設水道事務所長

基本的には1日1回、早朝です。そしてセンサー対応となりますので、10 cmが基準となります。状況に応じて除雪業者がエッジを立てることができなくて、雪が厚めに残ってしまったときは業者の責任で出ることもあります。今お話があったとおり、日中に除雪車を出せば当然交通渋滞もありますし、こちらで寄せた雪を寄せることができない人もたくさんいます。なおかつ歩行者が早朝よりも多いということになりますので、作業事故につながると。その都度交通整理員を用意できればいいのですが、そうすると業者の負担も出てくるし、日中やって、早朝もやってとなると一人で全部こなすことになるため、余程の豪雪でない限りは検討はできないかと思います。道路河川課とも話をしながら進めているところでございますので、基本は早朝除雪1回ということでご理解いただければと思います。ただ、あまりにひどい場合はまずはご連絡をいただければと思います。

○会長

他になれば、事務局から何かありませんでしょうか。

○事務局

- 【説明】
- ・ 全体研修会について
 - ・ 次回の地域協議会について

○会長

それではこれもちまして、第3回の地域協議会を終了といたします。ご苦労さまでした。

(午後1時58分閉会)

協和地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

後 藤 隆 繁

滝 沢 洋 子
